

令和6年度奥州市病院事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

ア 病院事業全体としての状況

令和6年度の病院事業は、令和6年3月に新たに策定した「奥州市立病院・診療所経営強化プラン」を基に、各医療施設の強みを生かした連携の強化や、経営改善に取り組んでまいりました。前年度と比較して、入院患者を中心とした患者数の伸びや各種健診、リハビリテーション件数の増などから医業収益は増収となりました。しかし、それを上回る物価や人件費の高騰により医業費用が大幅に増加したことで減益となり、病院経営はより一層厳しい状況に直面しています。

医師数については、常勤医師が総合水沢病院の内科で1人増となりましたが、衣川診療所で1人減となったことから、会計年度任用職員医師1人を含めた全体では、前年度と同じ26人となりました。

経営状況については、入院患者数は32,821人（前年度比3,106人増）、外来患者数（訪問看護を除く。）は116,451人（同2,583人増）となっており、一日当たりの平均患者数は入院で89.9人（前年度81.2人）、外来481.2人（同468.6人）となりました。一般病床利用率は42.4%（休床分を除いた稼働病床により算出した場合は55.5%）で、前年度の38.3%（同50.1%）から4.1ポイント（同5.4ポイント）の増となっています。

収益的収入及び支出（税抜）については、医業収益が2,719,879,038円、医業外収益が1,218,453,092円、訪問看護事業収益が55,435,596円、訪問看護事業外収益が60,256円、このほか特別利益が1,224,252円で、病院事業収益総計は3,995,052,234円となりました。

支出については、医業費用が4,350,820,790円、医業外費用が169,549,009円、訪問看護事業費用が75,134,826円、このほか特別損失が3,300,066円で、病院事業費用総額は4,598,804,691円となりました。

この結果、医業収支で1,630,941,752円の損失、経常収支で601,676,643円の損失となり、特別損益を含めた病院事業収支における純損益は603,752,457円の純損失となりました。

また、資本的収入及び支出（税込）については、収入は395,440,000円、支出は522,224,417円となり、収入が支出に対して不足する額は過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

イ 医療機関ごとの状況

（ア）総合水沢病院

医師数は常勤医師が1人増となり、会計年度任用職員医師1人を含めると全体としては14人となっています。入院患者数は19,236人で前年度と比較して2,765人（16.8%）の増となり、外来患者数（訪問看護を除く。）は56,493人で前年度と比較して4,060人（7.7%）

の増となりました。訪問看護は、利用者数が 5,642 人となっています。

収益的収入(税抜)については、医業収益が 1,596,241,303 円、医業外収益が 573,083,802 円、訪問看護事業収益が 48,091,547 円、訪問看護事業外収益が 34,821 円、このほか特別利益が 10,000 円で、収益総額は 2,217,461,473 円となりました。

収益的支出(税抜)においては、医業費用が 2,590,216,012 円、医業外費用が 95,661,468 円、訪問看護事業費用が 60,153,629 円、このほか特別損失が 1,579,507 円で、支出総額は 2,747,610,616 円となりました。

この結果、医業収支では 993,974,709 円の損失、経常収支では 528,579,636 円の損失となり、特別損益を含めた純損益では 530,149,143 円の純損失となりました。

(イ) まごころ病院

医師数は前年度と同数の常勤医師 9 人となっています。入院患者数は 12,519 人で前年度と比較して 895 人(7.7%)の増となり、外来患者数(訪問看護を除く。)は 38,623 人で前年度と比較して 1,269 人(3.2%)の減となりました。訪問看護は、利用者数が 1,127 人となっています。

収益的収入(税抜)については、医業収益が 831,467,123 円、医業外収益が 243,755,370 円、訪問看護事業収益が 7,344,049 円、訪問看護事業外収益が 25,435 円、このほか特別利益が 1,197,333 円で、収益総額は 1,083,789,310 円となりました。

収益的支出(税抜)においては、医業費用が 1,098,530,475 円、医業外費用が 37,503,963 円、訪問看護事業費用が 14,981,197 円、このほか特別損失が 510 円で、支出総額は 1,151,016,145 円となりました。

この結果、医業収支では 267,063,352 円の損失、経常収支では 68,423,658 円の損失となり、特別損益を含めた純損益では 67,226,835 円の純損失となりました。

(ウ) 前沢診療所

医師数は前年度と同数の常勤医師 1 人となっています。外来患者数は 8,503 人で前年度と比較して 558 人(7.0%)の増となりました。なお、入院については平成 26 年 8 月から引き続き休止しています。

収益的収入(税抜)については、医業収益が 89,616,185 円、医業外収益が 106,159,799 円、このほか特別利益が 16,919 円で、収益総額は 195,792,903 円となりました。

収益的支出(税抜)においては、医業費用が 197,735,622 円、医業外費用が 11,769,151 円、このほか特別損失が 112,708 円で、支出総額は 209,617,481 円となりました。

この結果、医業収支では 108,119,437 円の損失、経常収支では 13,728,789 円の損失となり、特別損益を含めた純損益では 13,824,578 円の純損失となりました。

(エ) 衣川診療所

医師数は前年度より 1 人減の 1 人となっています。入院患者数は 1,066 人で前年度と比較して 554 人（34.2%）の減となり、外来患者数は 7,853 人で前年度と比較して 1,122 人（12.5%）の減となりました。

収益的収入（税抜）については、医業収益が 136,973,400 円、医業外収益が 223,066,661 円で、収益総額は 360,040,061 円となりました。

収益的支出（税抜）においては、医業費用が 335,316,062 円、医業外費用が 21,331,276 円、このほか特別損失が 1,604,885 円で、支出総額は 358,252,223 円となりました。

この結果、医業収支では 198,342,662 円の損失、経常収支では 3,392,723 円の利益となり、特別損益を含めた純損益では 1,787,838 円の純利益となりました。

（オ）衣川歯科診療所

医師数は前年度と同数の常勤医師 1 人となっています。外来患者数は 4,979 人で前年度と比較して 356 人（7.7%）の増となりました。

収益的収入（税抜）については、医業収益が 57,694,293 円、医業外収益が 29,973,460 円で、収益総額は 87,667,753 円となりました。

収益的支出（税抜）においては、医業費用が 79,043,570 円、医業外費用が 2,961,466 円、このほか特別損失が 2,456 円で、支出総額は 82,007,492 円となりました。

この結果、医業収支では 21,349,277 円の損失、経常収支では 5,662,717 円の利益となり、特別損益を含めた純損益では 5,660,261 円の純利益となりました。

（2）経営指標に関する事項

令和 6 年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、前年度比 4.8 ポイント減の 86.9%で、健全経営の水準とされる 100%を下回りました。また、医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す修正医業収支比率も、57.4%と 100%を大きく下回り、医業活動においても赤字となっています。

病院の施設が有効に活用されているかを示す病床利用率は、前年度比 4.1 ポイント増の 42.4%となりました。医療局全体として入院患者数は増加しているため、病床利用率は改善傾向にあります。

赤字体質からの脱却と病床利用率の更なる向上を目指し、「奥州市立病院・診療所経営強化プラン」を基に、引き続き経営改善に取り組んでまいります。

〈経営指標の推移〉

ア 経常収支比率【(経常収益／経常費用) ×100】

	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2
総合水沢病院	80.8%	88.9%	134.6%	129.8%	88.3%
まごころ病院	94.1%	91.5%	97.6%	92.7%	91.7%
前沢診療所	93.4%	108.3%	110.6%	102.0%	94.2%
衣川診療所	101.0%	95.6%	100.7%	95.3%	97.3%
衣川歯科診療所	106.9%	124.4%	120.7%	95.1%	102.5%
医療局全体	86.9%	91.7%	121.0%	115.7%	90.5%

イ 修正医業収支比率【(医業収益－他会計負担金)／(医業費用) ×100】

	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2
総合水沢病院	56.6%	55.0%	65.3%	56.3%	52.1%
まごころ病院	71.5%	70.7%	70.3%	68.8%	68.8%
前沢診療所	37.6%	40.7%	38.5%	33.4%	30.4%
衣川診療所	36.2%	49.0%	47.8%	47.8%	48.4%
衣川歯科診療所	55.3%	56.2%	54.3%	49.5%	51.7%
医療局全体	57.4%	57.6%	63.4%	56.9%	54.4%

※医業収益には訪問看護事業収益を、医業費用には訪問看護事業費用をそれぞれ含めて算出している（令和6年度より変更。令和5年度以前は含めずに算出。）。

ウ 病床利用率【(年延入院患者数／年延病床数) ×100】

	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2
総合水沢病院	36.3% 〔55.5%〕	31.0% 〔47.4%〕	27.7% 〔42.3%〕	33.0% 〔50.3%〕	35.9% 〔54.8%〕
まごころ病院	71.5%	66.2%	67.4%	66.6%	64.7%
前沢診療所	(休床)	(休床)	(休床)	(休床)	(休床)
衣川診療所	15.4%	23.3%	20.6%	24.3%	22.8%
衣川歯科診療所	—	—	—	—	—
医療局全体	42.4% 〔55.5%〕	38.3% 〔50.1%〕	36.1% 〔47.2%〕	39.8% 〔52.1%〕	41.3% 〔54.0%〕

※病床利用率は感染症病床を除く一般病床利用率を示す。

※下段の〔 〕書は、一般病床のうち休床分を除いた稼働病床により算出した数値である。

※前沢診療所は全床を休床としているため、医療局全体の病床利用率の算出から除外している。